

心理小委員会活動報告

心理小委員会
小委員長 和氣 典二

1. 研究目的

前期の心理小委員会では、「公共的地下空間の知覚環境に関する研究」をテーマとし、心理学の観点から、地下空間における人間の行動について研究し、公共的地下空間の多様な利用者の知覚環境、災害時行動などに重点を置き、その成果を実際の地下施設への適用を検討することを目的とした。今期はさらに移動手段の違いによる心理的・生理的負荷についても重点をおくものとする。

2. 研究内容

2.1 テーマ

- (1) 重点研究課題「地下鉄火災調査」関連
- (2) 土木・心理・建築からみた地下空間—仮称「わかりやすい地下空間と人間」の考えと展開
今期はさらに、「移動手段の違いによる生理的・心理的負荷の程度や深度による影響の研究」を追加する。

2.2 基本方針

- テーマ(1) 重点研究課題「地下鉄火災調査」に関連して、日本と韓国の地下空間イメージ調査を行い、比較検討を行う。
- テーマ(2) 前記に引き続き各分野からの話題提供を頂きまとめていくこととした。今期の追加テーマは、移動手段の違いが年齢によってどれくらいの疲労感をあたえるか、実空間を用いて心理的・生理的に調査する。

2.3 研究体制

- テーマ(1) 地下鉄火災調査についてアンケートを中心に下記体制をとって推進した。

アンケート調査（心理小委員会WG）

実施責任者 都立大学 市原委員（当時）

作業責任者 趙委員（前）、西田委員、富田幹事

- テーマ(2)については、大深度地下空間におけるアメニティとバリアフリーに着目して下記体制をとって推進した。

大深度地下空間におけるアメニティとバリアフリー（心理小委員会WG）

実施責任者 地下空間委員会顧問 西委員

作業責任者 白水委員（当時）、富田幹事（当時）

今期の追加テーマについては、深度の深い地下鉄駅を利用してアンケート調査

を中心に下記体制をとって推進する。

アンケート調査（心理小委員会WG）

実施責任者 首都大学東京 市原副委員長

作業責任者 西田委員，西委員，本多委員，三田幹事

2.4 今期概略スケジュール

平成17年度 情報・資料の収集・整理およびアンケート調査実施
平成18年度 同上
平成19年度 報告書作成

3. 活動経過

◇平成17年2月12日 第13回小委員会

- ①講演 市原委員 「大深度地下空間のイメージ調査」
- ②受託研究報告
- ③報告書のまとめ
- ④次期活動について

◇平成17年5月25日 第14回小委員会

- ① 報告書（案）確認
- ② シンポジウム論文について
- ③ 次期小委員会公募について

◇平成17年7月31日

・地下鉄フィールド実験（青山一丁目駅，六本木駅）

◇平成17年9月8日 地下空間研究委員会成果報告会

◇平成17年11月19日 第1回小委員会

- ① 講演 市原副委員長 「地下鉄調査中間報告」
- ② 活動計画について

4. 委員名簿

（平成17年11月現在）

役職	氏名	勤務先	役職	氏名	勤務先
委員長	和氣 典二	中京大学	委員	中村 廣史	(株)日建設計シビル
副委員長	市原 茂	首都大学東京	委員	西 淳二	NPO法人ゾロチキョーフォーム
委員	榎本 博明	名城大学	委員	西田 幸夫	東京理科大学
委員	河本健一郎	中京大学	委員	本多 薫	山形大学
委員	神作 博	中京大学	委員	松本 直司	名古屋工業大学
委員	清水 則一	山口大学	委員	水口 雅晴	三菱地所(株)
委員	関口 佳司	関口佳司景観研究所	委員	向井 希宏	中京大学
委員	富田 剛久	(株)オオバ			
委員	土門 剛	首都大学東京	幹事	三田 武	(株)日建設計シビル